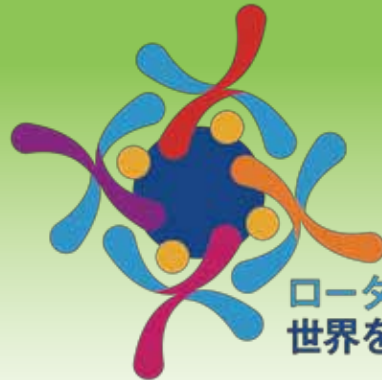


Rotary International District 2610
Rotary Club of NOMI



国際ロータリー第2610地区
能美ロータリークラブ



ロータリーは
世界をつなぐ

2019~2020年度
下期発刊会報



三代 橋田与三郎作「赤絵割取の図(大皿：直径78 cm)」

「一年を振り返って」

会長 坂井 毅



早いもので、能美ロータリークラブの会長を引き受けて1年が経ちました。私にとっては、1年間の4分の1は、新型コロナウイルスの影響で、石川県でも緊急事態宣言が発令され、例会も3月、4、5月は全て休会と致しました。会員の皆様には大変申し訳ない気持ちで一杯でした。また、理事会等についても、3密を避けるため書面理事会となりました。特に残念だったのは、特別例会や夜間例会の「石川第2分区都市連合会8クラブ合同例会」「高崎南ロータリークラブとの合同例会」「小松ロータリークラブとの合同観桜例会」そして早朝例会の「春の交通安全運動」「和田山清掃」等も全て中止としなければなりませんでした。本当に残念でなりません。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の中でも、地区米山学友会の袁喜達さんより、お世話になったクラブの皆様あてにマスクの寄贈がありました。袁さんには本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

また、2020年4月からの米山奨学生レーテイ・アイン(ベトナム国)さんの受け入れを、長高カウンセラー立ち合いのもとに行うことが出来ましたことは、暗いニュースが続く中でも、明るい話題の一つだったと思います。

これからも新型コロナウイルスとの戦いがまだまだ続くと思いますが、会員の皆様と一緒にこの危機を乗り越えていきたいと思っています。

最後になりましたが、次年度は能美ロータリークラブ創立50周年の記念すべき年であります。会員皆様と一緒に盛り上げて行きましょう。

この一年、皆様の温かいご支援とご協力に心からのお礼と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

「一年を振り返って」

幹事 山本 邦彦



一昨年の夏過ぎから、周りの皆様にそろそろ幹事ではないかと言われていた中、坂井会長エレクトからお声がかかり、「何とかなるだろう」と深く考えもせず引き受けてしまったことで、準備の段階から大変苦労し、後悔したことを覚えています。

思っていた以上にロータリーのことが理解できておらず、本当に一年全うできるのか不安の日々が続きました。ご迷惑をかけながらも、皆様の温かいご支援、ご指導、ご協力により、各種事業を乗り切ることができ、深く感謝申し上げます。

振り返ってみると、特に2月以降は新型コロナウイルス感染症の発生により、3カ月間例会取り消し、高崎南RCとの合同例会、小松RC合同観桜例会等、大きな事業が中止、また会員増強活動も行うことが出来ず、会員が2名減少したこと等を大変残念に思います。

この経験を活かし、これからのロータリー活動が有意義に行えればと思っています。

会員の皆様はじめ、能美RCの様々な活動に携わって頂いた皆様に感謝とお礼を申し上げます。一年間、どうもありがとうございました。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に伴う影響」

2020年を迎えて間もなく、新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大し、確定感染者数は世界で1,000万人を超えました。新規感染症のパンデミックとしては、呼吸器系ウイルスでは1918年のスペイン風邪と呼ばれるインフルエンザの最初の流行以来の規模になりました。

近年の感染症では2002年のSARS(重症急性呼吸器症候群)、2009年のA(H1N1)pdm09型インフルエンザウイルス(豚インフルエンザ)、そして2012年のMERS(中東呼吸器症候群)に続く流行病です。今回のCOVID-19は、発症しない感染者が多いために感染流行を止めることが難しく、やっかいな病原体となっています。

そして4月7日には安倍内閣総理大臣より7都府県に対する「緊急事態宣言」、4月16日には、全都道府県に緊急事態宣言が拡大され、石川県を含み13都道府県に対する「特定警戒都道府県」も位置づけられました。

その後5月14日には全国39県に、5月25日には国内の全ての都道府県の緊急事態宣言が解除されましたが、今もなお、手洗いや消毒、「密閉」「密集」「密接」の3密を避ける、外出自粛等、一人一人が日々の中で感染防止を心掛ける必要があります。

能美ロータリークラブでも、皆様そしてご家族、事業所の従業員の安全と健康面を考慮し、3月から5月の3カ月間、例会や会議を中止させて頂きました。今後も感染予防対策を心掛けながら活動を行っていくこととなりますので、皆様ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

「中止や延期になった行事・会議」

- ・ 3月～5月 能美RC例会取り消し
- ・ 3月 8日(日) 石川第2分区都市連合会(ホスト：小松東RC)
- ・ 3月 6日(金) 第7回日台親善会議(福岡)
- ・ 3月13日(金) 高崎南RC・能美RC合同例会(ホスト：能美RC)
- ・ 3月14日(土) 高崎南RC・能美RC合同ゴルフコンペ
地区社会奉仕委員長会議・講演会
- ・ 3月15日(日) 会長エレクト研修セミナー(ホスト：高岡北RC)
- ・ 3月24日(火)～ インターアクト海外研修(オーストラリア)
- ・ 4月10日(金) 能美RC春の安全運転呼び掛け運動
- ・ 4月12日(日) 第113回能美RCグリーン会ゴルフコンペ(ツイン)
- ・ 4月17日(金) 小松RC・能美RC合同観桜夜間例会(ホスト：能美RC)
- ・ 4月18日(土) 地区米山奨学生オリエンテーション
- ・ 4月19日(日) 2020-21年度のための地区研修・協議会(ホスト：高岡西RC)
- ・ 4月25日(土) 第8回全国インターアクト研究会(山形)
- ・ 4月26日(日) 地区RLI研究会卒業コース
- ・ 5月10日(日) 石川第2分区8RC親睦ゴルフ大会(ホスト：小松東RC)
- ・ 5月15日(金) 能美RC和田山史跡公園清掃例会
- ・ 6月 6日(土)～ 国際大会(アメリカ、ハワイ州、ホノルル)バーチャル国際大会に変更
- ・ 6月 地区インターアクト協議会(ホスト：加賀中央IAC)
能美RCグリーン会納会
- ・ その他 能美RC次期委員会や各種会議等

「下期活動記録」



【新年参拝例会】

と き：1月4日(土) 8：30～
と ころ：寺井町奥野八幡神社
「新たな年を迎え、尾坂宮司のお話を拝聴し
皆様のご健康とご活躍を祈念しました」
(会場監督委員会)



【能美RC職業奉仕賞贈呈式】

と き：1月10日(金) 12：30～
と ころ：寺井地区公民館3階301会議室
「地域でご活躍されている救急救命士10名の
皆様を表彰しました。」(職業奉仕委員会)

ハイライト 「会員入退会」

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例会開催の目途がたたず、今回は定例理事会にて入会式の開催をさせて頂きました。(株)北國銀行 寺井支店 能美エリア統括店長・寺井支店長で当クラブ会員でありました山森一喜様の異動に伴い、後任者として上野剛様が入会となりました。



＜山森一喜様 2020年4月17日 異動に伴う退会＞

緊急事態宣言をうけて事業所本部でもテレワーク等の対応と市外への移動について自粛を余儀なくされております。大変残念ですが今回訪問できません。状況を見てご挨拶させて頂く時間をぜひ頂戴したいと存じます。その際は是非ともよろしくお願ひいたします。



＜上野 剛 様 2020年4月17日 後任者として入会＞

4月1日付けにて着任致しました。ロータリークラブに所属するのは初めてであります。分からない事ばかりですが、能美ロータリークラブの皆様と早く慣れ、活動をともしていきたいと思っておりますので、ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

ハイライト 「米山奨学生 レーティ・アインさん」

当クラブでは2020年4月～2022年3月の2年間、石川県立大学在学中でベトナム出身のレーティ・アインさんを米山奨学生として受入れます。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地区主催のオリエンテーションの開催が出来ずスポンサークラブでの対応が急がれたため、長高カウンセラーと坂井会長で対応させて頂きました。米山本部から届いたカウンセラー委嘱状を長高会員へ贈呈、アインさんには米山奨学生バッジと4～5月の奨学金を贈呈させて頂きました。

＜レーティ・アインさんからのご挨拶＞

日本に来て4月でちょうど5年になりました。石川県の大学に来る前に、3年間岡山県の倉敷市でホームステイをしていました。一人で日本に来て不安なことが沢山ありますが、いつも日本人の方々にお世話になっており、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。現在、石川県立大学で食品科学を学んでいます。将来は、ベトナムで食品開発業界に貢献したいと思います。



ハイライト 「袁喜達さんからの恩返し～マスク100枚寄贈～」

2018-2019年度米山奨学生として受入れをしていた袁喜達さん(現米山学友会)より、会員の皆様へとマスク100枚が寄贈されました。クラブよりお礼状を送るとともに、会員の皆様へ郵送させて頂きました。



能美ロータリークラブ会員の皆様へ

ご無沙汰いたしております。皆様におかれましては、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？近日、コロナウイルスの影響で私の研究室も止まっており、オンラインで講義をすることになりました。コロナウイルスは体調の弱い人に重症化しやすい傾向があるらしく、大変危険な病気だと思います。そのため四月に、中国でマスク不足が少し解消した時、家族に頼んでマスクを郵送してもらいました。しかし、中国と日本の運輸も大変な時期なので、半月をかけて本日届きました。微力ながらマスク100枚をクラブに贈呈致します。早めの収束を願い、そして何よりも皆様のご健康をお祈りいたします。

～～袁喜達～～

ハイライト 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と闘う」

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し多くの地域で生活が急変、保健専門家らは、人びとが互いの距離を空け、感染力の強いこのウイルスの拡大防止のために必要であれば自己隔離することを呼びかけました。

その中で奉仕と行動を大切にするロータリー会員は、地域社会で率先してプロジェクトを立ち上げ、支援を必要とする人びとへの援助を行いました。国際ロータリーのロータリー財団では、新型コロナウイルス対応のための補助金の使用に関し、地元や海外の人びとを守り、助けるために活用できる項目を提供しております。

「疾病の予防と治療」はロータリーの主な活動分野の一つで、現在は各地の保健当局による新型コロナウイルス情報の周知を援助し、パンデミック（世界的大流行）によって多大な負担を強いられている医療施設や病院に防護用品を寄贈するといった活動を行っています。

～～活動の一部をご紹介します～～

<イタリア>

地区内のクラブが寄付を募り、多くの患者をかかえる病院のために人工呼吸器、防護用品、マスク購入費用21,000ドルを集め、ネットで寄付を募りミラノの催事場に建てられた400床の病院で感染症の治療にあたる医師や看護師のための防護用品を購入。

<スリランカ>

空港トイレに体温計を設置、コロナウイルスに関する認識向上のポスターを作成し全国の学校に配布。

<第9212地区(エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン)>

地区ガバナーがコロナ対策チームを立ち上げ「手洗い場の設置(水タンクや石鹸含む)」「食事支援」「防護具を購入スルファンドレイジング」を実施。

<アメリカ>

ボランティアが毎週、隔離状態にある一人暮らしの市民に連絡して状況を確認し必要なものを確認したり、玄関先に花を配布。

～～危機への対応にテクノロジーを活用～～

直接会う例会や行事を中止・延期したクラブと地区は、親睦を保つ独自の方法を見出し、奉仕活動に工夫を凝らすことでパンデミックに対応しています。RIでもオンライン会議を主として活用し対応。

- ・オンライン例会に一般の人びとを招待したり、ウイルス学者を講演者に招き、コロナウイルスの感染経路や予防方法に対する知識を広めた。
- ・クラウドファンディングを活用し、宅配サービスを行う地元のお店のオンラインリストを作成したり、支援を必要とする人と、支援を提供できる人・団体をつなぐためのフェイスブックのグループを立ち上げ6,900人以上がグループに参加。
- ・会員がつながりを維持するためのデジタルツール活用法を紹介し、会議を録画し会員がいつでも閲覧・シェアできる環境を作った。
- ・会員のつながりを保つためのオンラインツール活用ガイドを作成。ゾーン内のクラブがオンライン例会を実施できるよう援助。

「 2019 - 2020年度 皆出席者表彰 」



【 入会以来連続皆出席 】

・ 20年以上	田川 剛 (40年 8ヶ月間)	鈴木 清作 (40年間)
	原田 芳昇 (30年 1ヶ月間)	長高 郁夫 (29年 6ヶ月間)
	元山 利朗 (26年 10ヶ月間)	清水 勝彦 (26年間)
	前田 英夫 (25年 10ヶ月間)	入口 博志 (23年 6ヶ月間)
	中野 和則 (21年 3ヶ月間)	
・ 10～19年	請田 貞男 (19年 10ヶ月間)	北出 秀樹 (19年 5ヶ月間)
	高見 豊樹 (18年 2ヶ月間)	田中 利明 (16年 11ヶ月間)
	山本 邦彦 (16年 11ヶ月間)	高畑外志夫 (16年 9ヶ月間)
	小坂 勇治 (16年 4ヶ月間)	山岸 大成 (15年 1ヶ月間)
	秋田 順孝 (13年 3ヶ月間)	広瀬 伸雄 (13年 3ヶ月間)
	南 直樹 (12年 8ヶ月間)	由田 徹 (11年間)
	角谷 健司 (10年 3ヶ月間)	佐々木 紀 (10年間)
・ 1～9年	染谷 政光 (9年 11ヶ月間)	田上 好裕 (9年 8ヶ月間)
	徳野 伸彦 (8年 5ヶ月間)	北 潔 (7年 6ヶ月間)
	山田 泰路 (4年 1ヶ月間)	廣田 孝司 (3年 9ヶ月間)
	北島 知之 (3年間)	

【 通算皆出席 】

・ 20年以上	北川外志雄 (41年間)	上田 宏一 (24年間)
	本 裕一 (20年間)	
・ 10～19年	深田 章 (19年間)	宮本 周司 (17年間)
	北野 哲 (14年間)	坂井 毅 (13年間)
	越野 明 (12年間)	田中 庄治 (10年間)
・ 1～9年	関戸 秀次 (9年間)	武腰 一憲 (7年間)

【 ホームクラブ100%出席 】

広瀬 伸雄 角谷 健司 山本 邦彦 由田 徹



皆出席表彰受賞の皆様、
おめでとうございます！

坂井会長、山本幹事、
一年間、本当にお疲れ様でした！

「2019-2020年度 ロータリー財団年次基金寄付者」



坂井 毅 会員
(マルチプル2回目)



広瀬 伸雄 会員
(ボールハリス・フェロー)



由田 徹 会員
(ボールハリス・フェロー)



北 正和 会員
(ボールハリス・フェロー)



南 祥子 会員
(ボールハリス・フェロー)

【その他】 能美ロータリークラブ年次基金

1, 000.00ドル

「2019-2020年度 ロータリー米山記念奨学会普通寄付・特別寄付者」



坂井 毅 会員
(第2回)



仲井 培雄 会員
(第2回)



山本 邦彦 会員
(第2回)



安田 由煥 会員
(第2回)



越野 明 会員
(第2回)



中出 和成 会員
(第1回)

【その他】 能美ロータリークラブ年間米山普通寄付 318, 000円

「編集後記」

この会報の発刊で、坂井年度の会報委員会の活動を終える事が出来ました。下期は新型コロナウイルス感染症の拡大で、多くの活動が中止となり、情報や写真等の紹介をする事が出来ず、委員長として大変残念に思っています。

また、3カ月間の例会取り消しにより、当たり前のように1週間に1度見ていた仲間の顔を見ないという事が、こんなに寂しいものかと実感させられました。

この1年間支えてくれた会報委員の皆様、記事にご協力下さった会員の皆様、誠に有難うございました。

会報委員長 長高 郁夫

会 長：坂井 毅 会長エレクト：元山利朗 副会長：高見豊樹 幹 事：山本邦彦
会報委員会：長高郁夫、上田宏一、田中利明、山田泰路



国際ロータリー第2610地区
能美ロータリークラブ

事務局：〒923-1121 石川県能美市寺井町ヨ47
寺井地区公民館1階

TEL 0761-57-2088 FAX 58-5430

Email nomi-rc@ceres.ocn.ne.jp

URL <http://nomi-rc.org/>

例会：金曜日12:30～13:30 寺井地区公民館3階